

雪下ろし安全ガイド

～屋根の雪下ろしには細心の注意を～



●軒先の雪が溶け落ちる危険があります。

●雪が溶け落ちる危険がある場合は、通行人、特に高齢者や子どもは十分注意しながら作業しましょう。

安全な雪下ろし作業のための8つのポイント

<1> 屋根の雪のゆるみ、天候に注意！

- 暖かい日は屋根が滑りやすく危険で、晴れの日ほど要注意。曇り空で、できれば雪の固い午前中に作業を行いましょう。
- 雪解け水や雪が動く音に注意しましょう。
- 強風や大雪など悪天候のときは作業を控えましょう。

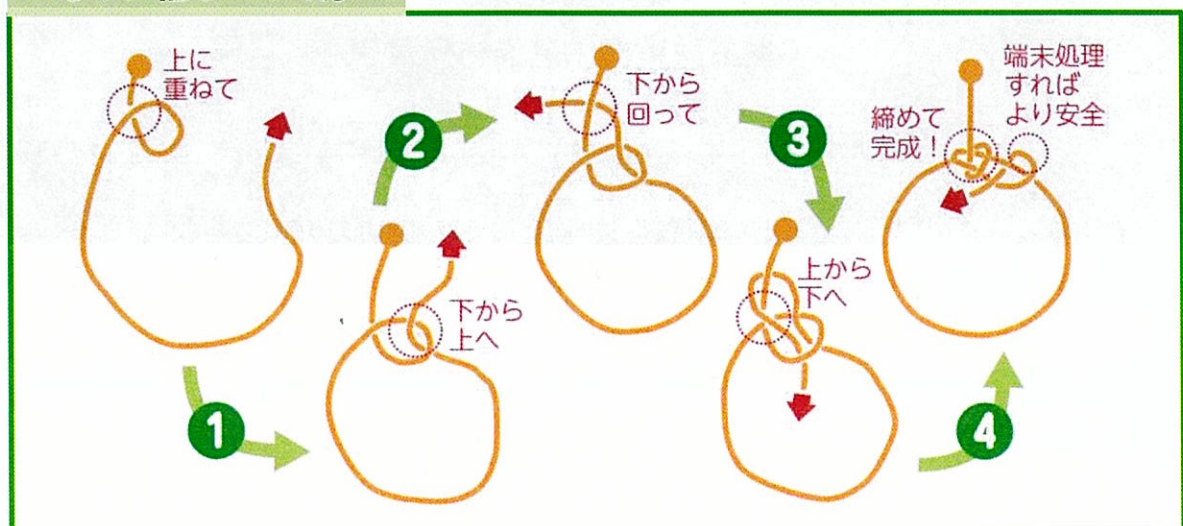
<2> 安全な服装で！

- ヘルメットは必ず着用しましょう。
- 着ぶくれしないで動きやすい服装で行いましょう。
- 足裏の感触が大事ですので、厚底の長靴は避けましょう。
- 滑りにくい防寒性のゴム手袋を使うようにしましょう。

<3> 命綱を必ずつけましょう！

- 転落防止のために命綱を使いましょう。
- 命綱にはザイルや麻ロープなどを使いましょう。トラロープは滑りやすいので危険です。
- 命綱を固定するには専用のアンカーを使いましょう。また、屋根の上に命綱を固定する場所がない場合は、反対側の家の柱や大きな木にくくりつけるなど、状況に応じて工夫しましょう。
- 命綱を体に固定するには、安全帯など幅広のものを使いましょう。
- 命綱は正しく結び（もやい結び）、屋根の上で止まる長さに調整しておきましょう。

もやい結びのやり方



<4> はしごはしっかり固定！

- 転倒防止のため、はしごの足元をしっかりと固め、はしご上部をロープで固定しましょう。
- はしごは屋根に対してまっすぐに、決められた角度でかけましょう。(通常75度)
(屋根に立てかけたはしごに登る際、はしごがずり落ちて転落して大ケガをする場合があります)
- はしごの昇り降りは滑りやすいので、要注意です。
- 除雪用具は持って昇り降りしないで、ロープを使って上げ下げしましょう。

<5> 使いやすい除雪用具を！

- 軽くて雪が付きにくいアルミ製スコップやスノーダンプを使いましょう。
- 雪が付きにくくなるスプレーも用意しておくとう便利です。

<6> 作業は2人以上で！

- 事故に備えて2人以上で作業しましょう。
(1人で雪下ろしをしていて、雪と一緒に落下し大量の雪に埋もれることがあります)
- やむを得ず1人で作業する場合は、家族や隣近所に声をかけ、時々様子を見てもらいましょう。
- 携帯電話を持参しましょう。

<7> 無理な作業はしない！

- 雪下ろしは重労働です。体調の悪いときは無理しないようにしましょう。
- 作業前の準備運動、作業中は適度な休憩や水分を補給しながら下ろしましょう。
- 作業開始直後と疲れた頃は慎重な作業を心がけましょう。
- 危ないときはスコップ等を離して身を守りましょう。
- 低い屋根でも油断は禁物です。経験や体力を過信しないようにしましょう。

<8> 足場はいつも注意！

- 落雪に巻き込まれないよう、上から雪下ろしをしましょう。
- 軒先は危険です。雪止めから下には足場を作らないようにしましょう。
- 軒先の雪は最後に落としましょう。

※その他、屋根下が道路に面している場合は、通行人(特に高齢者や子ども)に十分注意しながら作業しましょう。

**万が一、事故が発生したら
119番に通報してください！**

平成 25 年 12 月
岩見沢市総務部防災対策室
TEL 0126-23-4111